

9月に入り、スタッフが増えての活動が本格化しました。体調を崩しがちのスタッフも、少しずつ出勤できるようになりつつあります。それに従い、これまでの作業場所が手狭で動きにくくなりがちになったり、あっという間に作業が終了してしまったりするケースが増えました。そのため、複数の作業を並行して行ったり、同じ時間内でより多くの作業を計画できるようになりました。

新型コロナウイルスについても、「緊急事態宣言」が9月末まで延長され、オフィスにおいても、基本的な「手洗い・うがい・洗顔・三蜜を避ける」ことに心がけて業務に取り組むようにしています。

草は元気だ

9月に入っても草は元気に伸びてきています。グラウンドやその周辺の除草活動も、新規スタッフを交えて取り組むようになりました。2名の新規スタッフは、先輩スタッフの様子を見よう見まねで取り組み始めました。先輩スタッフも、教える立場になり、改めて作業手順や方法を確認しながら業務に取り組むことができています。



木陰での休憩は気持ちいい

炎天下での作業は暑く、タオルやお茶は必須です。さらに、空調服を使用しているスタッフもいます。あまり汗をかかないスタッフも、よく見ると服の下には汗をしっかりとかいています。小まめに休憩をとって、木陰で少し吹く風を受けながら、水分補給や汗を拭いたりしながらいろいろな話に花を咲かせています。

除草活動のお礼をもらいました。

暑い中、一生懸命取り組んでいる除草活動に対して、生徒のみなさんからお礼をいただきました。スタッフが草取りをした畑で、生徒のみなさんががんばって育てた真っ赤に色づいたトマトです。こうした、みなさんの気持ちはとてもうれしいものです。ありがとうございました。

